

がんばる農家プラン

～地域を守る、がんばる前田農園プラン～

作成年度 令和2年8月

作成者 前田 昭彦

1. はじめに（プラン作成に至った経緯）

元々祖父の時代から、霞地域の共同作業場が当家圃場敷地内にあり、秋の籾摺り作業や精米作業を作業場に持ち寄る地盤が出来ていた。祖父がその作業場を引継、父に継承したことにより、自分にとり農業が身近なものという感覚は、幼い頃から育まれていた。

初めて農業を仕事として始めたのは25歳の時。近隣の圃場を頼まれ挑戦した1年目の米作りは、ひえや雑草に占領され、惨憺たる結果に終わった。しかし、その中から米作りの難しさや奥の深さを身をもって学んだ。そして、もっと良い米を作りたいという思いや闘志が自然に湧いた。2年目の挑戦は、近隣の農業経験者の話や教えに耳を傾け、良いと思える対策を積極的に取り入れることに努めた。1年目にびっしり茂っていたひえや雑草が、2年目には見違えるほど少なくなり、それに伴い米づくりの楽しさが少しずつ感じられるようになった。そして収量が増え、米の等級も上がり、生産量を増やすという目標が新たに生まれた。

そんな時、霞地域を見回ると、地域の高齢化による担い手不足により、農地の維持管理が難しくなっている現状を痛切に感じた。また、40代以下の若手農業者が自分しかいない現実を知り、農地拡大のビジネスチャンスがあることを確信した。霞地域ではまだ取り組まれていない農業法人化の勉強会にも参加。就農5年目には認定農業者となることが出来た。そして、小作や受託作業などの依頼が徐々に増えている現在、コンバイン等の大型化・乾燥機の増設を図り、作業の効率を高めたいと思う。今回、がんばる農家プランの作成に着手し、農業法人化されていない霞・丸山地域の農地を守り水稻を中心とした経営安定を図りたい。また、JA鳥取西部とも連携して、水稻栽培に向かない条件不利地の農地にはソバの作付けを行うなど、地域の農地を守る取り組みも引き続き実施していく。

また地域貢献の取り組みとして、本年5月、にちなん保育園との交流で田植えの見学や見学した圃場に保育園児が作成した看板を設置し、秋には稲刈りを園児たちとする予定にしている。地域の子供たちに農業の楽しさや奥深さを知ってもらい、将来「農業をしたい！」という子供が増えるような取り組みをしていく。



<プロフィール>

- ・ 〇歳（令和2年8月現在）
- ・ 8年前より 0.3ha 作付面積で農業をはじめ。
- ・ 現在（R元年）は、自作・小作地を合わせて水稲生産を4.6ha、受託作業を8.5ha 管理して計13.1haの農業経営を行っている。
- ・ 令和元年度より星空舞74a程の作付けをはじめ。

2. 経営者の実績

- (1) 認定農業者 平成28年8月認定
- (2) 日南町の「人・農地プラン」に位置づけられる中心となる経営体
- (3) 過去の補助事業の活用・・・平成29年度がんばる農家プラン事業活用
- (4) 地域の保育園との交流による地域貢献、食農活動の実践

3. 生産経営の現状・課題

- (1) 生産経営の現状（令和元年度）

<<経営規模>>

自作地	借入地	合計
0.3ha	4.3ha	4.6ha

<<作目>>

水稲	4.6ha
----	-------

<<作業受託>>

耕耘	田植え	稲刈り	乾燥調整
2.0ha	2.0ha	4.0ha	8.5ha

<<ソバ作業受託>>

刈り取り	20.0ha
------	--------

<<所有機械・施設>> R2年8月現在

機械、施設名	形式、規模	取得年月日	数量

〈強み〉

- ・ 歳と年齢的に若いため、この先も長く農地を管理することができる。
- ・ J A以外の米の販売先がある（米子市内の飲食店等）。
- ・ 小作依頼場所、受託作業場所が比較的近くにあるため、移動や作業も楽に行える。

〈弱み〉

- ・ 農業経験が浅い。
- ・ 機械設備が古く、小規模なため更新していく必要がある。

(2) 経営課題

- ・ 経営規模の拡大に伴い、収穫期の作業が混雑するようになってきた。地域では農業者の高齢化に伴い、利用権設定や、作業受託の依頼が年々増えてきているが、現在の個人所有農機では、機械の老朽化や能力不足が顕著であり、機械の大型化を進め、適期での刈取りによる作業効率向上を図り、経営の安定に努めたい。
- ・ また、地区は湿田が多く、現有コンバインでは不安定な状態になることも多く、水平制御機能を有した馬力の高いコンバインを導入することで労力向上につながる。
- ・ 現状、粗選別を行っておらず、異物混入による籾摺り機の故障が多くなっている。また、直販も行っているが、今後も近隣飲食店等への販売先を増やしていくにあたり色彩選別機の導入等も検討していきたい。

(3) 改善内容と目標

- ・ 経営規模の拡大に伴い、作業時期が集中することがあるため、水稻品種の選別を行い、作期分散を図ることで適期での刈取りによる作業効率の向上に努めたい。
あわせて、大型コンバインを導入することで労力や安全性の向上につながり、さらなる規模拡大を図ることができる。
- ・ 現在は水稻苗を農協からの購入により多額の経費がかかっていることもあり、今後の経営規模の拡大を見据え、自家育苗を行うことができないか、近隣のトマト経営農家からハウスを借りるなどして苗購入のコストを抑えることとしたい。
- ・ 乾燥調製については、乾燥機の増設を行うことで作業効率を上げることにより、適期作業を行うことができる。
- ・ 粗選別を行うことにより、異物混入による籾摺り機の故障を防ぐことにより修理費を抑えることができ、また、故障による一時中断をなくし作業効率を上げることができる。
- ・ 保育園等と連携した食育・食農活動を通じて、地域の方々や保護者とのつながりを生かして農業従事者の確保や、新規販売先等の斡旋など、人と人とのつながりを大切にした農業経営を行っていく。

《目標値》

	現状 令和元年	1年目 令和2年	2年目 令和3年	3年目 令和4年	目標年 令和5年
水稻経営面積	13.1ha	13.5ha	14.0ha	14.5ha	15.0ha
うち、稲刈り	8.6ha	9.0ha	9.5ha	10.0ha	10.1ha
うち、乾燥調製	13.1ha	13.5ha	14.0ha	14.5ha	15.0ha

※自作地と作業受託実面積の合計面積を目標とする。

4. 事業効果

- ・ 水稻品種の選別を行い、作期分散を図ることで適期での刈取りによる作業効率の向上に努めるとともに、収量の安定化を図ることができる。また今後の経営規模の拡大を見据えて自家育苗への取組みを図ることにより、苗代のコスト低減を図ることが可能となる。
- ・ コンバインの能力・馬力アップを図り湿田での作業に対応できることから、適期の刈取作業が可能となり作業効率の向上と品質の向上につながる。
- ・ 乾燥機の増設により作業の遅れを解消し、粗選別機の導入による調整ラインの機械保護と作業精度を向上させる。これらにより作業中断のロス時間を減らしながら秋作業の全体的な効率化を図る。
- ・ 〇地区を中心とした日野上校区は、日南町内では比較的若い世代が多い地域ではあるが、農業経営を行っている方は少なく、農業従事者はいずれも高齢化している現状がある。以前、地域の担い手として農地を守っていた方が亡くなられ、その方の農地を作らせていただいているが、今後、若い世代が農業に参画する機会を増やしたり、子供も含めた農業体験や、長年農業に関わってこられた方も含めて地域全体で農地を守り、地域を守る取組みを前田農園として取り組んでいきたい。

5. 目標達成に向けた取組み

(1) 年次別行動計画

項目	内容	令和2年	3年	4年	5年
規模拡大	作付け及び受託面積の増	○	○	○	○
コンバインの導入	がんばる農家プラン事業で導入	◎			
乾燥機の導入	がんばる農家プラン事業で導入	◎			
粗選別機の導入	がんばる農家プラン事業で導入	◎			
収量の安定化	作業効率の向上	○	○	○	○
地域との連携	地域での話し合い	○	○	○	○
保育園との連携	田植え・稲刈り体験	○	○	○	○

※ ◎は県、町の支援が必要なもの（がんばる農家プラン事業）○は自己対応

(2) 農業機械の利用計画

機械名	仕様	導入年度	面積 (ha)				
			R1	R2	R3	R4	R5
コンバイン	4条 48ps	R2	8.6ha	9.0ha	9.5ha	10.0ha	10.1ha
乾燥機	21石	H23	6.5ha	4.0ha	4.0ha	4.0ha	4.0ha
	21石	H30	6.6ha	4.0ha	4.0ha	4.0ha	4.0ha
	25石	R2	-	5.5ha	6.0ha	6.5ha	7.0ha
粗選別機	3,500 kg/h	R2	13.1ha	13.5ha	14.0ha	14.5ha	15.0ha

※R1の乾燥については、ライスセンター使用分も含む

6. 機械・作物の年次別計画

年度	1年目 R2年度	2年目 R3年度	3年目 R4年度	目標年 R5年度
機械・施設 導入計画	コンバイン 乾燥機 粗選別機の導入	—	—	—
対象作物の 生産計画	水稲経営 13.5ha (作業受託面積 含む)	水稲経営 14.0ha (作業受託面積 含む)	水稲経営 14.5ha (作業受託面積 含む)	水稲経営 15.0ha (作業受託面積 含む)

7. 支援事業の内容

(単位: 円)

内 容	事業費 (税抜き)			負担区分
	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)	
コンバイン 乾燥機 粗選別機	7,762,700	0	0	県 1/3 町 1/6 本人 1/2

8. 添付資料

- 経営試算表
- 特定高性能機械の導入理由、規模決定根拠
- ほ場図
- 導入機械カタログ、見積書